



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月9日

上場会社名 H. U. グループホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 4544 URL <https://www.hugp.com/>
代表者 （役職名）代表執行役会長 兼 社長 兼 グループCEO （氏名）竹内 成和
問合せ先責任者 （役職名）執行役常務 兼 CFO （氏名）北村 直樹 TEL 03-6279-0926
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	186,729	2.6	4,177	57.2	1,440	△66.4	5,604	100.6
2025年3月期第3四半期	182,047	2.6	2,657	—	4,289	—	2,794	—

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 9,915百万円（198.2％） 2025年3月期第3四半期 3,325百万円（606.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	99.43	99.34
2025年3月期第3四半期	49.18	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第3四半期	272,918	135,110	49.4	2,431.72
2025年3月期	279,582	137,295	49.0	2,411.40

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 134,922百万円 2025年3月期 137,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	62.00	—	63.00	125.00
2026年3月期	—	62.00	—		
2026年3月期（予想）				63.00	125.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	250,000	2.9	6,000	127.2	4,000	△15.7	7,000	153.5	124.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2026年2月9日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	57,490,722株	2025年3月期	57,473,822株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	2,006,360株	2025年3月期	655,425株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	56,371,230株	2025年3月期3Q	56,818,627株

(注) 当社は信託型株式報酬制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2026年3月期の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法)

当社は、2026年2月9日（月）に機関投資家およびアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料については、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9
(四半期連結損益計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により、経済活動は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、米国の通商政策等により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、医療機関の経営状況の悪化や医療費の削減要請に伴う検体検査実施料の抑制等、厳しい事業環境が継続しております。

このような環境の中、当社グループといたしましては、これまでの投資の刈り取りフェーズと位置付けた5か年の中期経営計画「H. U. 2030」を策定し、一体化経営のさらなる深化等を通して収益性を向上すべく各種施策に取り組んでおります。H. U. Bioness Complexに関しては、旧システムのシャットダウン対応等にかかるコストが第1四半期連結会計期間に発生しましたが、完全稼働を開始し、徐々に収益性の改善に寄与しております。NEURO領域においては、血漿中の217位リン酸化タウ蛋白（pTau217）とβ-アミロイド1-42の比率を測定する検査試薬が2025年5月にアルツハイマー病の診断補助を目的とした血液用体外診断用医薬品として初めて米国食品医薬局（FDA）より承認を取得し、本試薬を中心としたNEURO領域の製品が成長しております。国内においても、2025年11月に厚生労働省に製造販売承認の申請を行い、さらなる成長に向けての準備を進めております。また、CDMO事業については、2025年6月23日に発表したPlasma Services Group, Inc. の買収も背景に、原料供給の強化を進めております。

これらの結果といたしまして、当第3四半期連結累計期間の売上高は186,729百万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。

利益では、増収による増益に加えて、検査・関連サービス事業におけるサービスレベル・販売価格の適正化をはじめとした限界利益の増加等により増益となりました。その結果、営業利益は4,177百万円（前年同四半期比57.2%増）となりました。経常利益は、営業利益の増加による増益はあったものの、前第3四半期連結累計期間には出資金運用益および為替差益を計上していたため、結果として減益となり、1,440百万円（前年同四半期比66.4%減）となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益および関係会社株式売却益の計上等により、5,604百万円（前年同四半期比100.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

イ. 検査・関連サービス事業

売上では、がんゲノムを始めとした遺伝子関連検査および特殊検査が伸長したこと等により増収となりました。これらの結果、売上高は119,010百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。利益では、ベース事業の増収による増益に加えてサービスレベル・販売価格の適正化をはじめとした限界利益の増加等により、営業損失は563百万円（前年同四半期は営業損失3,592百万円）となりました。

ロ. 臨床検査薬事業

売上では、NEURO関連売上が海外を中心に伸長したものの、新型コロナウイルス関連製品の売上高の減少等により減収となりました。これらの結果、売上高は44,563百万円（前年同四半期比1.1%減）となりました。利益では、海外市場の環境変化を背景としてCDMO事業が軟調に推移したことに加えて、新型コロナウイルス関連製品の減収による減益およびPlasma Services Group, Inc. の買収費用の発生等により、営業利益は7,212百万円（前年同四半期比22.6%減）となりました。

ハ. ヘルスケア関連サービス事業

売上では、滅菌・手術関連事業が伸長したことおよび在宅事業において2024年12月より株式会社ガイアメディケアを連結子会社化したこと等により増収となりました。これらの結果、売上高は23,155百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。利益では、増収による増益により、営業利益は1,611百万円（前年同四半期比25.5%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6,663百万円減少し、272,918百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加6,957百万円、ソフトウェアの増加2,840百万円、のれんの増加2,624百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加2,090百万円、商品及び製品の増加1,180百万円および仕掛品の増加1,156百万円があった一方、無形固定資産その他の減少8,024百万円、投資その他の資産その他の減少4,820百万円、工具、器具及び備品（純額）の減少3,104百万円、流動資産その他の減少2,997百万円、土地の減少1,901百万円および有形固定資産その他（純額）の減少1,699百万円があったためであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ4,478百万円減少し、137,808百万円となりました。その主な要因は、1年内償還予定の社債の増加5,000百万円があった一方、社債の減少5,000百万円、賞与引当金の減少2,236百万円および流動負債その他の減少2,099百万円があったためであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2,184百万円減少し、135,110百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益5,604百万円および為替換算調整勘定の増加4,165百万円があった一方、配当金の支払7,151百万円および自己株式の取得による減少5,001百万円があったためであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.4%増加し、49.4%となりました。

(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6,957百万円増加し、47,841百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は12,012百万円（前年同四半期13,104百万円の獲得）となりました。その主な要因は、減価償却費16,034百万円、税金等調整前四半期純利益7,478百万円および持分法による投資損益1,805百万円があった一方、関係会社株式売却損益3,928百万円、固定資産売却損益2,263百万円、売上債権及び契約資産の増加額2,162百万円、賞与引当金の減少額2,154百万円および棚卸資産の増加額2,135百万円があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は9,733百万円（前年同四半期11,812百万円の使用）となりました。その主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入4,949百万円、有形固定資産の売却による収入4,382百万円、関係会社出資金の払戻による収入3,738百万円および貸付金の回収による収入3,567百万円があった一方、子会社株式の取得による支出2,876百万円、無形固定資産の取得による支出2,065百万円および有形固定資産の取得による支出1,660百万円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は15,427百万円（前年同四半期4,049百万円の使用）となりました。その主な要因は、配当金の支払額7,118百万円、自己株式の取得による支出5,001百万円およびファイナンス・リース債務の返済による支出3,462百万円があったためであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、下記のとおりとなる見通しです。詳細につきましては、本日(2026年2月9日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

単位：億円 (四捨五入)	2026年3月期予想 (2025年9月25日公表値)	2026年3月期予想 (2026年2月9日公表値)	増減額	増減率 (%)
売上高	2,520	2,500	△20	△0.8%
EBITDA※1	305	280	△25	△8.2%
営業利益	80	60	△20	△25.0%
経常利益	60	40	△20	△33.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	70	70	—	—
ROE	5.2%	5.2%	—	—
ROIC※2	2.5%	1.9%	—	—

※1 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

※2 ROIC=NOPAT（営業利益－みなし法人税）／投下資本 [(純資産+有利子負債（リース債務含む）
+ その他の固定負債）の期首・期末残高の平均]

なお、業績の見通しにつきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、今後様々な要因によってこれと大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,885	47,843
受取手形、売掛金及び契約資産	46,619	48,709
商品及び製品	5,580	6,761
仕掛品	8,509	9,665
原材料及び貯蔵品	7,183	7,719
その他	11,228	8,230
貸倒引当金	△863	△1,042
流動資産合計	119,143	127,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	※1 26,246	※1 25,527
機械装置及び運搬具（純額）	※1 7,101	※1 7,115
工具、器具及び備品（純額）	※1 13,977	※1 10,872
土地	9,700	7,799
その他（純額）	16,523	14,824
有形固定資産合計	73,549	66,138
無形固定資産		
のれん	7,682	10,307
顧客関連無形資産	1,724	1,760
ソフトウェア	※1 17,304	※1 20,145
その他	17,571	9,547
無形固定資産合計	44,283	41,761
投資その他の資産		
投資有価証券	1,801	1,173
その他	40,736	35,915
貸倒引当金	△2	△13
投資その他の資産合計	42,534	37,076
固定資産合計	160,367	144,976
繰延資産	70	53
資産合計	279,582	272,918

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,908	19,490
電子記録債務	301	243
短期借入金	10,000	10,000
1年内償還予定の社債	—	5,000
1年内返済予定の長期借入金	10,045	10,034
未払金	9,876	10,301
未払法人税等	1,232	936
賞与引当金	6,266	4,029
株式給付引当金	—	260
その他	12,807	10,708
流動負債合計	69,438	71,004
固定負債		
社債	31,100	26,100
長期借入金	19,182	19,158
退職給付に係る負債	6,935	7,121
資産除去債務	1,561	1,509
株式給付引当金	277	308
補償損失引当金	279	134
その他	13,513	12,472
固定負債合計	72,848	66,803
負債合計	142,287	137,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,279	9,306
資本剰余金	25,094	25,122
利益剰余金	93,309	91,767
自己株式	△2,258	△7,259
株主資本合計	125,425	118,937
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9	38
為替換算調整勘定	12,942	17,108
退職給付に係る調整累計額	△1,347	△1,161
その他の包括利益累計額合計	11,586	15,985
新株予約権	102	95
非支配株主持分	180	92
純資産合計	137,295	135,110
負債純資産合計	279,582	272,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	182,047	186,729
売上原価	131,301	132,144
売上総利益	50,745	54,584
販売費及び一般管理費	48,087	50,406
営業利益	2,657	4,177
営業外収益		
受取利息	383	328
受取配当金	67	59
為替差益	525	—
出資金運用益	2,820	—
その他	257	281
営業外収益合計	4,054	669
営業外費用		
支払利息	413	519
持分法による投資損失	1,541	1,805
その他	468	1,082
営業外費用合計	2,422	3,406
経常利益	4,289	1,440
特別利益		
固定資産売却益	1	2,265
関係会社株式売却益	—	※1 3,928
段階取得に係る差益	※2 150	—
補償損失引当金繰入額	※3 678	—
その他	8	527
特別利益合計	838	6,722
特別損失		
固定資産除却損	191	313
関係会社整理損	※4 912	—
補償損失引当金繰入額	※5 156	※5 226
その他	154	144
特別損失合計	1,415	684
税金等調整前四半期純利益	3,712	7,478
法人税、住民税及び事業税	2,804	954
法人税等調整額	△1,886	1,007
法人税等合計	917	1,961
四半期純利益	2,794	5,516
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△88
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,794	5,604

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,794	5,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,486	47
為替換算調整勘定	1,803	4,165
退職給付に係る調整額	214	185
その他の包括利益合計	530	4,398
四半期包括利益	3,325	9,915
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,325	10,003
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△88

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,712	7,478
減価償却費	15,056	16,034
のれん償却額	346	529
支払利息及び社債利息	413	519
為替差損益(△は益)	△430	△1,361
持分法による投資損益(△は益)	1,541	1,805
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△1,317	△2,162
棚卸資産の増減額(△は増加)	△573	△2,135
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,231	318
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,096	△2,154
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	444	531
固定資産売却損益(△は益)	110	△2,263
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△3,928
関係会社整理損	912	—
補償損失引当金戻入額	△678	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,083	△1,502
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△146	954
その他の流動負債の増減額(△は減少)	5,221	790
その他	△8,515	399
小計	14,852	13,850
利息の支払額	△478	△576
法人税等の支払額	△1,806	△1,722
その他	536	462
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,104	12,012
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,339	△1,660
有形固定資産の売却による収入	756	4,382
無形固定資産の取得による支出	△4,783	△2,065
子会社株式の取得による支出	—	△2,876
子会社株式の条件付取得対価の支払額	△3,005	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	4,949
関係会社出資金の払戻による収入	—	3,738
貸付金の回収による収入	300	3,567
その他	△1,740	△302
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,812	9,733
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△1	△5,001
配当金の支払額	△7,114	△7,118
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,000	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,330	△3,462
その他	6,396	155
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,049	△15,427
現金及び現金同等物に係る換算差額	159	638
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,598	6,957
現金及び現金同等物の期首残高	39,946	40,884
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,348	47,841

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※1 国庫補助金等の受入により取得価額から控除している圧縮記帳累計額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
建物及び構築物(純額)	262百万円	262百万円
機械装置及び運搬具(純額)	1,238	1,238
工具、器具及び備品(純額)	196	187
ソフトウェア	29	59
合計	1,726	1,748

2 当社は、緊急時の手元流動性を確保すること等を目的として、主要取引金融機関とコミットメント契約を締結しております。コミットメント契約に係る借入未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
コミットメントラインの総額	20,000百万円	20,000百万円
借入実行残高	—	—
差引額	20,000	20,000

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※1 関係会社株式売却益は、当社が保有するケアレックス株式会社の株式の一部を売却したことによるものであります。

※2 段階取得に係る差益は、株式会社ガイアメディケアの株式の段階取得に伴い発生したものであります。

※3 補償損失引当金戻入額は、当社が2019年3月期に計上した補償損失引当金の一部を戻し入れたことによるものであります。

※4 関係会社整理損は、在外子会社の整理に伴う損失に備えるため、当該損失見込額を計上したことによるものであります。

※5 補償損失引当金繰入額は、既計上済の補償損失引当金にかかる追加計上分であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	検査・関連 サービス 事業	臨床検査薬 事業	ヘルスケア 関連サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	115,060	45,070	21,916	182,047	—	182,047
セグメント間の内部 売上高又は振替高	398	3,315	13	3,727	△3,727	—
計	115,458	48,385	21,930	185,774	△3,727	182,047
セグメント利益又は損 失 (△)	△3,592	9,324	1,283	7,015	△4,358	2,657

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△4,358百万円は、セグメント間取引消去11,038百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△15,397百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第3四半期連結累計期間において、のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	検査・関連 サービス 事業	臨床検査薬 事業	ヘルスケア 関連サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	119,010	44,563	23,155	186,729	—	186,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	286	3,087	111	3,486	△3,486	—
計	119,297	47,651	23,267	190,215	△3,486	186,729
セグメント利益又は損 失 (△)	△563	7,212	1,611	8,261	△4,083	4,177

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△4,083百万円は、セグメント間取引消去10,106百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△14,189百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「臨床検査薬事業」のセグメントにおいて、Plasma Services Group, Inc. を連結子会社としたことにより、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては2,382百万円であります。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,350,400株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が4,999百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が7,259百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。